

東京農業大学 地域産業経営学科 開設記念キックオフ・イベント



地域の復権と 新たな大学の 役割を問う

[3.11 以降の地域振興と
地域産業経営の課題]

2012年

2月29日(水)

15:00 ~ 17:30

憲政記念館講堂 [入場無料]

東京都千代田区永田町1-1-1 (国会議事堂斜め前)

● 基調講演 ●

震災復興と地域ビジネスによる 再生の課題

たかなりた とおる
高成田 享氏 NPO東日本大震災子ども基金理事長
元朝日新聞論説委員



● 特別スピーチ ●

地域産業経営によせる期待 清成忠男氏 / 地域活性学会会長

● パネルディスカッション ●

地域再生で日本の 元気を取りもどす

高橋 公氏 / NPOふるさと回帰支援センター専務理事・事務局長

高橋 菜穂子氏 / 国立ファーム株式会社 山形ガールズ農場代表

木村 俊昭氏 / 地域活性学会理事、東京農業大学客員教授

長澤 真史 / 東京農業大学生物産業学部教授、産業経営学科長



主催：東京農業大学 / 東京農業大学生物産業学部
共催：東京農業大学オホーツク実学センター
株式会社農都共生総合研究所 / NPOふるさと回帰
支援センター / 東京農業大学産業経営学会
後援：地域活性学会 / 日本地域政策学会
東京農業大学校友会 / 朝日新聞社

お問合せ

東京農業大学産業経営学科
0152-48-3899
kickoff2012@bioindustry.nodai.ac.jp



地域の復権と新たな大学の役割を問う

3.11以降の地域振興と地域産業経営の課題

●開催主旨

いまや「地域ビジネス」や「まちづくり」は時代の定番キーワードとなり、地方自治体のみならず市民レベルでもさまざまな取り組みが行われています。特に震災を経た今日においては、効率や貨幣価値で推し量る「強さ」だけではなく、固有の地域資源や産業に立脚して柔軟で持続可能性のある地域づくりが希求されています。被災地の地域再建も含め、日本各地に適用可能な“地域の人々の手”による“地力を引き出す地域ビジネス”の在りようが問われています。

東京農業大学 生物産業学部 産業経営学科は、2012年4月より「地域産業経営学科」へと生まれ変わります。「地域の復権と新たな大学の役割を問う」ことを通じて、地域産業の活性化やコミュニティ再建の課題について、皆さんと一緒に探求していきます。

●講演者・パネリストのプロフィール



震災復興と地域ビジネスによる再生の課題

高成田 享 / NPO東日本大震災子ども基金理事長、元朝日新聞論説委員

たかかなりた とおる：東京大学経済学部卒業。1971年に朝日新聞社に入社、経済部記者、経済部次長、アメリカ総局長、論説委員などを歴任。1996年から1997年まで、テレビ朝日「ニュースステーション」キャスター。定年を機にシニア記者として2011年2月まで石巻支局長。4月から仙台大学教授。東日本大震災後、東日本大震災復興構想会議の委員に就任。また、震災で親をなくした児童・生徒を支援する「東日本大震災子ども未来基金」を立ち上げ、8月に宮城県から特定非営利活動法人（NPO法人）の認証を受け、理事長に就任。



6次産業化ビジネスで拓く地域の活性化

高橋 公 / NPOふるさと回帰支援センター専務理事・事務局長

たかはし ひろし：福島県相馬市出身。早稲田大学中退。1977年7月全日本自治団体労働組合（自治労）入職。連合社会政策局長などを経て特別執行委員。2002年11月からNPO法人ふるさと回帰支援センター事務局長。2010年6月から専務理事を兼務。「ふるさと回帰フェア」などで、全国を飛び回っている。環境審議会臨時委員、食と地域の「絆」づくり選定委員会委員、新しい公共推進会議委員等を務める。



地域の元気と女性起業家たち

高橋 菜穂子 / 国立ファーム株式会社 山形ガールズ農場代表

たかはし なほこ：横浜国立大学を卒業後、農家である山形の実家に戻り、果樹や米など5年間研修を積む。2007年に国立ファームと出会い、実家の農業と全国農業青年会議（4Hクラブ）の理事と国立ファームのパイヤーを経験、2009年に山形ガールズ農場立ち上げ。「母となる女性たちにもっと食や農業を知ってもらいたい」という想いから、女性の視点を生かした生産・加工・販売を手がけ、ブームに終わらない農業改革を目指す。



地域再生はローカルデザインの創造力から

木村 俊昭 / 地域活性化学会理事、東京農業大学客員教授

きむら としあき：北海道出身。1984年小樽市入庁。産業振興課長、企画政策室室長（プロジェクト担当）などを経て2006年から内閣官房・内閣府で、地域再生策の策定・推進、地域再生制度事後評価、政府広報活動のほか、地域再生に関する調査研究を担当。2009年から農林水産省大臣官房企画官として地域の担い手育成、地域ビジネス創出、農林水産業を中心とした6次産業化、地域と大学との連携などを担当。現在は内閣官房「地域活性化伝道師」として全国各地で講演している。



なぜ地域産業経営か～今こそ問われる「地域」と大学の価値

長澤 真史 / 東京農業大学生物産業学部教授、産業経営学科長

ながさわ まさし：専門は環境調和型持続的農業経営、地域農業振興と農業ビジネスなど。（株）東京農大バイオインダストリー取締役。地域問題や農業振興計画策定等にも積極的に取り組んでおり、国土交通省網走開発建設部入札監視委員会委員、渚滑川河川整備計画検討委員会副委員長、網走市地方港湾審議会委員、網走市大曲湖畔園地整備利用計画推進協議会会長など。

